

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	必修
担当教員			
豊田 正明			
A (会計学科)	S (専門科目)	SM (演習)	401 (専門ゼミ・卒業論文等)

授業のねらい (概要)	民法などの法律系の理解を深め、プレゼンテーション等を行う。 また、身近なトピックなどについても法的な視点から考察する。 卒論のテーマを決める。
授業計画	<p>第1回 【遠隔】ガイダンス 卒業論文作成に向けての注意および指導。大学のゼミとはどのようなものか理解する。 予習 (時間) : 大学のゼミとはどのようなものか調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : 今後のスケジュールと内容を把握する。 (120)</p> <p>第2回 【遠隔】法的な基礎知識の涵養① 卒業論文作成に向け、法的な基礎知識の涵養をおこなう。 身近なトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 身近なトピックを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第3回 【遠隔】法的な基礎知識の涵養② 卒業論文作成に向け、法的な基礎知識の涵養をおこなう。 身近なトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 身近なトピックを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第4回 【遠隔】法的な基礎知識の涵養③ 卒業論文作成に向け、法的な基礎知識の涵養をおこなう。 身近なトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 身近なトピックを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第5回 法的な基礎知識の涵養④ 卒業論文作成に向け、法的な基礎知識の涵養をおこなう。 身近なトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 身近なトピックを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第6回 法的な基礎知識の涵養⑤ 卒業論文作成に向け、法的な基礎知識の涵養をおこなう。 身近なトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 身近なトピックを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第7回 法的な基礎知識の涵養⑥ 卒業論文作成に向け、法的な基礎知識の涵養をおこなう。 身近なトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 身近なトピックを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第8回 【課題】卒論テーマ決めと概要決め① 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックなどを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第9回 卒論テーマ決めと概要決め② 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックなどを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第10回 卒論テーマ決めと概要決め③ 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックなどを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第11回 【課題】卒論テーマ決めと概要決め④ 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックなどを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第12回 卒論テーマ決めと概要決め⑤ 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックなどを取り上げ、調べて知識を得ておく。 (120) 復習 (時間) : ゼミ内で得た知識の再確認をする。 (120)</p> <p>第13回 【課題】卒論テーマ決めと概要決め⑥ 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習 (時間) : 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックなどを取り上げ、調べて知識を得て</p>

	<p>おく。(120) 復習(時間)：ゼミ内で得た知識の再確認をする。(120) 卒論テーマ決めと概要決め⑦ 卒論のテーマにしたい内容に関するトピックを取り上げ発表・解説をおこなう。 予習(時間)：卒論のテーマにしたい内容に関するトピックなどを取り上げ、調べて知識を得ておく。(120) 復習(時間)：ゼミ内で得た知識の再確認をする。(120)</p> <p>第15回 まとめ 各自でこれまでの総括をおこなう。 予習(時間)：これまでの内容を簡潔にまとめ、卒論のテーマ決めをおこなう。(120) 復習(時間)：ゼミ内で指摘・指導された内容の再確認をする。(120)</p> <p>第16回</p> <p>第17回</p> <p>第18回</p> <p>第19回</p> <p>第20回</p> <p>第21回</p> <p>第22回</p> <p>第23回</p> <p>第24回</p> <p>第25回</p> <p>第26回</p> <p>第27回</p> <p>第28回</p> <p>第29回</p> <p>第30回</p>
授業を通して身に付けることができる能力(DP)	<p>専門的分野の学びを実務や社会で応用できる能力、情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢を身につけることができます。</p> <p>【身に付くスキル】 生涯学習力・情報活用能力</p>
到達目標	法律系の基礎知識を習得し、卒論作成に向け、テーマ選び、資料収集、研究成果の発表などができる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	毎回調べてきたことを発表し、それに対する修正点の指摘や指導などを行う。
履修上の注意	法律系の知識が必須のため、法律系の科目を履修済みか平行履修すること。履修者の理解度によっては、前倒して行うこともある。
成績評価の方法・基準	学修意欲、発言、提出物、プレゼン等のゼミ内における行動内容を総合的に判断する。
教科書	
参考書・教材	
備考	<p>講義科目／実務家教員による授業</p> <p>2020年度は、8、11、13回を課題研究として学修する。</p> <p>第8回 「卒論テーマ決めと概要決め①」について卒業論文のテーマをいくつか選び、レポートを作成する。レポート内容の指示・確認等を5、6回の対面授業やmellyの指示で行う。全体で330分の学修を想定している。</p> <p>第11回 「卒論テーマ決めと概要決め④」について選んだ卒業論文のテーマについて調べ、レポートを作成する。レポート内容の指示・確認等を7、8回の対面授業やmellyの指示で行う。全体で330分の学修を想定している。</p>

	第13回 「卒論テーマ決めと概要決め⑥」について各章の概要につき大まかな内容を決定し、レポートを作成する。レポート内容の指示・確認等を11、13回の対面授業で行う。全体で330分の学修を想定している。
教員との連絡方法	メール（講義の初めに周知する）